

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／(社)鹿児島県工業倶楽部 企画・編集／広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail:info@ikic.or.jp

2008

会報：No.41

12

平成20年度 秋季大会

日時：平成20年11月13日（木）

場所：ホテルウェルビューかごしま

平成20年度(社)鹿児島県工業倶楽部秋季大会が、11月13日(木)午後3時から、秋晴れの空の下ホテルウェルビューかごしまで、多数の来賓に参列いただいて盛大に開催されました。

川崎暢義会長の挨拶のあと、来賓を代表して鹿児島県副知事仮屋基美氏から挨拶を賜りました。

講演は、慶應義塾大学法学部教授片山善博氏を講師にお迎えし、「地方からの再生と日本の将来」と題して行われました。

講演要旨は以下のとおりです。

イントロは、鳥取と島津家との関係。斉彬公のご母堂が鳥取の池田家のお姫様で、島津家への輿入れに相当量の書物を持ち込んだといわれるほどの才媛であったとか。今年の

篤姫ブームに絡めた話でグット引き付けられてしまいました。

つぎに、北朝鮮でのコッチェビと呼ばれる浮浪児との実際の体験談を、少し韓国語が出来るのと照れながら生々しく語り、さりげなく政治体制や地方のあり方などに話を進めていく、憎いばかりの演出に、オーディエンスは釘付けでした



講師 片山善博氏



鹿児島県工業倶楽部
川崎会長



仮屋副知事

CONTENTS

特集：秋季大会平成20年度

1・2

事務局からのお知らせ

4

(株)鹿児島工業倶楽部の活動状況

3・4



さらに、最近の総理大臣の在任期間の短さは、江戸時代末期の老中の在任期間の短さと似ており、現在の日本は江戸時代末期と類似している印象を持つと断じた上で、しかし当時は地方がシッカリしていたとチクリ。維新の原動力となった薩摩、長州、高知などは財政破綻の状態、薩摩は今の夕張市に近い状態であった。調所笑左衛門が蛮勇を奮って財政再建に成功したのが地方として力をつけた遠因ではないかと。現在、地域経済や雇用は色々な対策が打たれているがなかなか成果が出ない。幕末から学ぶとすれば、自ら考える力を養うべきであるということである。

根深い官依存体質、地場企業の下請け体質、市場を見ないで政府の施策の動向ばかり見てきた農業、国や県の補助金の受け皿と化している商工団体や中小企業。いずれも自治体から「考える力」を奪い「愚民化」を進めてきた政府の施策を無批判に受け入れてきた結果ではないか。

地方自治体の「ハード事業偏重」と「借金漬け」を推進し、「貧困の罠」に陥れた国の地方財政対策に疑問を持つべき。また、自治体を断片的に支配し従属させようとする各省の姿勢に対し、トータルに物事を考えられなかった自治体側のあり方も、地方衰退の原因ではないか。

そして、道路特定財源やふるさと納税、法人事業税等国と地方にまたがる税や財源の抱える問題など本来あるべき税体系の課題等にも触れた上で、財政再建団体の夕張市はかつて最も頑張った自治体の代表であったと意外な見解。結果から判るように、国の誘導・支援はお節介と見るべきであって、何を頑張るかは自治体が決めることであると強調。

今、地方が必要としているのは「自ら考え、自ら行動する」力である。一方、国はお節介をやめ、わが国の進むべき方向を明確にした「国是」を示し、それを前提にした地方支援を行っていくべきである。地方の再生こそが日本を蘇らす条件であるといえる。

そのため、国は科学技術、知的財産権、文化芸術などの「知」を重視する知的立国を目指し、知の地域づくりを進めるべきである。

最後に、地方が再生するには、自治体の自立が不可欠であるとした上で、それには、地方議会の機能回復が絶対に必要であると。すなわち、地域経営の最終決定機関である議会がお粗末では地方の自立はありえない。住民をバランスよく代表し、かつ良質な人材を集めることが出来るような議会とするため、制度改革も必要となるのではないか。

いずれにしても、地方が自ら考える力を養っていくべきである。

片山教授は、鳥取県知事や自治省（現総務省）幹部として行政経験が豊富で、慶應義塾大学法学部においても地方自治論や政治学などを担当しておられますが、経済の分野でも見識をお持ちで、地場企業の下請け体質や農協のあり方等にも言及され、スマイルカーブを示しながら現状とあるべき姿とを熱く語った上で、発注元ではなく消費者と向き合うべきであるのご指摘でした。地方の役割、地域の力、国との向き合い方など示唆に富む話ばかりでした。

講演終了後、そのまま交流パーティに移行し、和やかな雰囲気の中で産学官、異業種間の有意義な交流が行われました。



社)鹿児島県工業倶楽部 活動状況

委員会

総務企画委員会

9月17日(水) 16:00～ ホテル・レクストン鹿児島

- ①秋季大会について
- ②農商工連携支援事業への取組みについて
- ③福祉部会について
- ④その他
- ・九州経済産業局との定例勉強会について
- ・出前交流会について
- ・県議との意見交換会について
- ・静岡県訪問について
- ・長崎工業会について

産学官連携委員会

11月18日(火) 17:00～ ソーホーかごしま 6F会議室C

- ①産学官連携に係る成果発表会の企画について

異業種交流委員会

9月13日(土) 11:00～ リッチモンドホテル「いねや」

- ①南薩地区プラザ出前交流会について
- ②農商工連携について

10月6日(月) 南薩地区プラザ出前交流会「農商工出合い交流会in南薩」

- 13:30～14:20 九州SUNX㈱ 視察
- 14:30～15:20 ㈱コフダヤ 視察
- 15:40～ 南さつま商工会議所青年部との交流会 (四季彩館)
- 講演 演題 ～機能性食品データベース
- 「食ライブラリースペース」の紹介～
- 講師 岡達三氏 鹿児島大学農学部獣医学科 教授
- 交流・情報交換会
- コーディネーター 中武貞文氏
- 鹿児島大学産学官連携部門 准教授

11月7日(金) 15:00～ ソフトプラザかごしま 2階展示会議室(1)

- ①今後の出前交流会について
- ②「2008異業種交流・産学官連携フォーラム九州・沖縄大会inみやざき」の視察について
- ③静岡県産業界との交流について
- ④その他
- ・新年大会について
- ・バイオクラスター
- ・新年度の農商工連携対策について

11月14日(金) 8:15(集合)～

- 「2008異業種交流・産学官連携フォーラム 九州・沖縄大会inみやざき」・
- 「みやざき総合産業祭」視察
- フォーラム
- ①特別講演「新たな視点からの地域振興」
- ②基調講演「農商工連携とその背景」
- ③分科会 第一分科会「事例に学ぶ九州の農商工連携」
- 第二分科会「新事業創出に向けての大学の使い方、行政との接し方」
- 第三分科会「異業種交流による新・観光事業」

広報・デザイン開発委員会

11月19日(水) 13:30～ 県産業会館 中2階会議室

- ①今年2回目の会報作成について
- ②これまでの反省とこれからの活動方針
- ③第3回会報について

部会

福祉ビジネス研究部会
第1回部会

11月6日(木) 17:00～ 県産業会館 中2階会議室

- ①「福祉部会」から「福祉ビジネス研究部会」への改称とそれに伴う参加者募集の案内について

食産業部会

9月2日(火) 16:00～ ソフトプラザかごしま2階展示会議室(1)

- ①講演 演題 「国際法改正とバイオテロ: 食の安全における最重要課題」
- 講師 岡本嘉六氏 鹿児島大学農学部獣医学科
- 病態・予防獣医学講座公衆衛生学分野 教授
- ②各社情報提供

11月19日(水) 16:00～ 鹿大「ディスカッションルーム」

- ①講演 演題 「鹿児島大学焼酎学講座の取組みについて」
- 講師 高峯和則氏 鹿児島大学農学部生物資源化学科
- 焼酎学講座 焼酎製造学研究室 准教授
- ②各社情報提供

プラザ

八日会例会

9月9日(火) 19:00～ 薩摩食堂「南洲庵」

- ①情報交換

10月7日(火) 19:00～ KIKUYA

- ①情報交換

プラザ

84プラザ例会	10月15日(水) 15:00～ 本坊酒造㈱ 本社 ①本坊酒造新社屋視察 ②会員の近況報告 ③事務局からの連絡事項
さつまプラザ・プラザ さくらじま合同例会	10月14日(火) 17:00～ ネイチャリング・プロジェクト 5階会議室 ①講演 演題 「本当に大切なことって何だろう 脱メタバ対策から見えてくるものとは」 講師 中山多喜子氏 知的ダイエツ世ru華
さつまプラザ・プラザ さくらじま・食産業部会 合同例会	11月19日(水) 18:00～ 焚火処「盛蔵」 ①情報交換
プラザいもづる例会	9月19日(金) 18:30～ 中崎電子工業 中崎社長宅 ①会員の近況報告
	10月10日(金) 17:00～ グッドコミュニケーションズ4階会議室 ①講演 演題 「インターネットの昨今事情」 講師 高橋美博氏 ㈱グッドコミュニケーションズ 代表取締役
	11月21日(金) 18:30～ ニッセイギャラリー稲音館 ①講演 演題 「健康あれこれ」 講師 神田隆弘氏 タテババ・神田クリニック 医師

地区プラザ

南薩地区プラザ	10月6日(月) 南薩地区プラザ出前交流会「農商工出合い交流会in南薩」 13:30～14:20 九州SUNX⑩ 視察 14:30～15:20 ⑩コワダヤ 視察 15:40～ 南さつま商工会議所青年部との交流会 (四季彩館) 講演 演題 ～機能性食品データベース「食ライブラリースペース」の紹介～ 講師 岡達三氏 鹿児島大学農学部獣医学科 教授 交流・情報交換会 コーディネーター 中武貞文氏 鹿児島大学産学官連携部門 准教
川薩地区プラザ	10月20日(月) 15:00～ 小城製粉⑩会議室 ①地区活性化について ②会員の近況報告 ③工業倶楽部事務局からの連絡事項
出水地区プラザ	9月22日(月) 18:00～ 鶴の町商工会館 野田支所 講演 演題 「国際法改正とバイオテロ: 食の安全における最重要課題」 講師 岡本嘉六氏 鹿児島大学農学部獣医学科 病態・予防獣医学講座公衆衛生学分野 教授

鹿児島大学

学生支援 専門委員会	10月1日(水) 16:00～ 鹿児島大学事務局第1会議室(2階) 議 題 ①春季インターンシップについて ②留学生の支援事業等について ③その他 報告事項 ①戦略的産学官連携支援事業の選択について ②ボランティア支援センターの設置について ③学生支援寄附金の創設について
---------------	---

事務局からのお知らせ

理事会の開催

9月29日第3回理事会が開催されました。
理事会では、新会員1名の加入承認、福祉部会の改称承認、秋季大会の開催決議、農商工等連携支援事業への取組み確認等が行われました。
なお、「福祉部会」は、「福祉ビジネス研究部会」となりました。

県議会議員との意見交換会の開催

9月25日鹿児島県議会商工業活性化対策議員連盟との意見交換会及び懇談会が開催されました。
県議会議員33名、会員23名が出席し、出前交流会の成果・実績、スパドゥーの経緯・展望、留学生受け入れ問題、工業技術センターの活用、農商工等連携の課題、事故米の問題等有意義な意見交換が行われ、定期的に開催するべきとの意見も出されました。

「農商工出合い交流会 in南薩」の開催

10月6日南さつま市での出前交流会を、農林漁業者等にも呼びかけ、農商工等連携の出会いの場「農商工出合い交流会」として開催。
会員32名、合計56名の参加で、九州SUNX(株)、(株)コワダヤ視察の後、鹿大農学部岡達三教授の機能性食品についての講演、名刺交換会、懇親会等の交流を行いました。

「2008異業種交流・ 産学官連携フォーラム 九州・沖縄inみやざき」の開催

11月14日全国異業種交流協議会九州・沖縄ブロック連合会(当倶楽部も一員)主催で開催されました。
同時開催された、みやざきテクノフェアや異業種交流・産学官連携展示等の「みやざき総合産業祭」視察を兼ねて14名で参加しました。